

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「チラズール県チカングル地域中等学校建設計画」 完工式

2018年5月25日



写真（左）：柳沢大使（中央），ムワナムヴェカ農業・灌漑・水開発大臣（右），ボトマニ・チラズール県知事（左）

2018年5月25日、マラウイ国南部チラズール県にて、被供与団体であるチラズール県教育事務所の主催により、草の根・人間の安全保障無償資金協力「平成28年度チラズール県チカングル地域中等学校建設計画」の完工式が執り行われました。本式典には、ムワナムヴェカ農業・灌漑・水開発大臣も臨席し、多くの関係者が祝辞の言葉を述べました。

マラウイ成長開発戦略Ⅲ（MGDSⅢ）では教育が社会経済開発の重要な柱として強調されており、中等教育のアクセス向上はこの開発戦略の目標を達成する上で重要です。しかし、マラウイ政府の多大なる尽力にも関わらず、多くのマラウイ人、特に農村部に住む人々が中等教育を受けることは困難な状況であり、このチカングル地域も例外ではありませんでした。このような背景から日本大使館へ支援要請がなされ、日本政府は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じた113,984米ドルのチラズール県教育事務所への供与を承認しました。また、材料費の高騰により発生した不足分を補填するため、600万マラウイクワチャがマラウイ政府の選挙区開発資金から拠出されました。

式典で柳沢大使は、建設の主体であったチラズール県教育事務所及びチラズール県庁に対し賛辞の言葉を送ると共に、素晴らしい仕事を発揮した建設業者も賞賛しました。最後に柳沢大使は、より多くの生徒が本案件の恩恵を受けられるように施設管理を十分行うよう、生徒、学校管理委員会、コミュニティに対し要請しました。